
第 16 回 東京都小中学生ジュニアスプリント水泳大会

兼 **Nニチレイチャレンジ** 特別泳力検定会

1. 主 催 (公財)東京都水泳協会
2. 主 管 (公財)東京都水泳協会 ジュニア委員会
3. 問合せ先 小野 潤一 TEL 080-3598-4046
4. 期 日 3月5日(土) 競技開始 9:00(予定)
3月6日(日) 競技開始 9:00(予定)
5. 会 場 東京辰巳国際水泳場
6. 競技種目 小学1年～中学3年まで 各学年共に同じ
自由形 50m
背泳ぎ 50m
平泳ぎ 50m
バタフライ 50m
個人メドレー 100m
7. プール設定 短水路 8レーン(2面)
8. 競技方法
 - (1) 各種目とも予選はタイムレース、決勝は各学年上位8名で行う。
また、決勝レースに棄権が出た場合、補欠者から2名順次繰り上げ参加させるが、3人目からの棄権者の補充は行わない。
 - (2) 参加人数・種目数が多数で競技進行上、予選・決勝の実施が不可能な場合は、全種目タイムレース決勝となる場合がある。
 - (3) 未公認競技会のため、スイムレコードドットコムへの掲載はない。
9. 競技順序

3月5日(土)		3月6日(日)	
1.	100m 個人メドレー 予選	5.	50m バタフライ 予選
2.	50m 自由形 予選	6.	50m 背泳ぎ 予選
3.	100m 個人メドレー 決勝	7.	50m 平泳ぎ 予選
4.	50m 自由形 決勝	8.	50m バタフライ 決勝
		9.	50m 背泳ぎ 決勝
		10.	50m 平泳ぎ 決勝
10. 表 彰 学年第1位～3位までの選手にメダルを、第1位～8位までの選手に賞状を授与する。
各学年男女各1名に優秀選手賞としてトロフィーを授与する。
11. 記録証 参加者全員に記録証を贈る。

12. 申込規定

(1) 申込資格

- ① 2015 年度(公財)日本水泳連盟に競泳区分で団体登録が完了していること。
- ② 競技者登録しなくても出場可能。
- ③ 選手活動の普及を目指しているため、今年度のいずれかに当てはまる選手は出場できない。
 - ・日本選手権・ジャパンオープン・日本選手権(25m)に出場した選手。
 - ・全国 J O 夏季大会に出場した選手。
 - 全国 J O で参加した年齢区分に関わらず、リレーのみの選手、棄権した選手、J O とは異なる種目での出場もできない。
 - ・全国中学に出場した選手。
 - リレーだけの登録選手も含まれる。
 - ・3月27日より行われる全国 J O 春季大会に出場予定の選手。
 - 全国 J O で参加する年齢区分に関わらず、リレーのみの選手、異なる種目での出場もできない。

(注意) 毎年本大会で、多数の選手が上記の違反で申し込みをしている。
発見次第、該当選手の種目を全て削除する。なお、削除手数料として申込金の返金はしない。
また、申込後に全国 J O への出場が決まった選手の全エントリーは削除し、申込金は大会当日に返金する。

- ④ 週一回以上定期的に水泳の練習をしており、競技会に参加するにあたり、十分な能力を有している。
- ⑤ 当日の体調による出場・欠場の判断は保護者・監督・コーチの責任で行うこと。
- ⑥ 観覧にあたっては、マナーを守り、係員の指示に従うこと。
- ⑦ 小学校低学年の選手については、ウォーミングアップに必ず引率コーチが付き添うこと。
- ⑧ 引率コーチによる控え場所の定期巡回を行うこと。
※ エントリー完了後、申込資格に同意・承認したものと判断する。

(2) 制限事項

- ① 1名2種目以内とする。
- ② 小学生・中学生とする。

(3) 標準記録

	自由形	背泳ぎ	平泳ぎ	バタフライ	個人メドレー
小学 1・2	53.0	58.0	1:07.0	1:07.0	2:05.0
小学 3・4	47.0	52.0	57.0	57.0	1:54.0
小学 5・6	43.0	43.0	48.0	48.0	1:46.0
中学 1・2・3	38.0	38.0	43.0	43.0	1:40.0

(4) 申込方法

Web-SWMSYS を用いて、2月4日(木)までに集計作業を含む申し込みを完了する。

なお、競技者登録を行っていない選手の申込は以下の手順とする。

- ① 通常の方法にて Web-SWMSYS にログインする。
- ② 競技者登録に入る。
- ③ 競技者エントリー用登録(新規)に入り、必要データを正しく入力し、登録する。
- ④ 通常の選手と同様に、出場したい種目にチェックを入れ、エントリータイムを入力する。

申込金振込先 みずほ銀行 吉祥寺支店 普通 1398777
 公益財団法人東京都水泳協会ジュニア委員会
 ザイトウキョウトスイエイョウカイジ ユニアイカイ

1. 泳力検定とは

泳力検定は、水泳の普及を目的とし、全国に統一された泳力基準を設定、履歴書や内申書等に記入できる公認資格として創設した制度です。検定は、「クロール」「背泳ぎ」「平泳ぎ」「バタフライ」「個人メドレー」の中から受検する級と泳法を選び、タイムを計測して泳力を判定します。内容は、年齢別・男女別に5級から、4級、3級、2級、1級の5段階に区分されており、泳法に違反しない泳ぎで定められた基準タイム以内に完泳することが条件になります。無理なく自分の、泳力に応じて日標を決めて、受検することができることから幼児・学童のジュニアから中高年まで幅広い年齢層の方々が挑戦しています。

2. 泳力検定の特徴

① 全国に統一された日本水泳連盟泳力基準による級設定。

7歳から19歳までの1級基準については、水泳選手への登竜門としての位置づけとし日本水泳連盟資格級1級に準拠しており、20歳以上の1級基準については、マスターズ水泳大会の記録を参考に設定しています。

② 基礎から応用まで、泳力を段階的に判定できる級設定。

泳力検定の級は、1～5級に分かれており、各級は、泳力に応じて日標を設定し、ステップアップすることができるようになっています。25メートル完泳の泳力があれば5級・4級に挑戦し、3級で種日毎のターン(折り返し)技術の習得を踏まえた泳力の向上、2級・1級で4泳法を続けて確実に泳げるように設定しています。

③ 生涯スポーツとしての水泳を意識した級設定。

泳力検定の各級は、年齢に応じた基準設定がされています。受検者の年齢や泳力に応じて、目標を自由に設定することができ、生涯スポーツとして幅広い年齢層の方々にも挑戦していただけます。

④ 明確な検定基準と正確な泳力判定のための体制整備。

泳力検定は、明確な検定基準と正確な泳力判定をするために、日本体育協会及び日本水泳連盟に資格登録した「公認水泳指導者(水泳コーチ・水泳教師・スポーツ指導員)」を検定者としています。

3. 泳力判定合否基準

別に定める泳力判定基準タイム以内で、かつ日本水泳連盟競泳競技規則に違反しない泳ぎであること。検定受検者の年齢区分は検定日当日の満年齢とし、「自由形泳法」はクロール泳法とします。

※泳力判定基準タイムは、(公財)東京都水泳協会ホームページ(<http://www.tokyo-swim.org>)をご覧ください。

4. 合格者氏名の公表

合格者氏名は「月刊水泳(一部)」「日本水泳連盟ホームページ (<http://www.swim.or.jp>)」「朝日小学生新聞(一部)」「スイミングマガジン(一部)」に掲載されます。